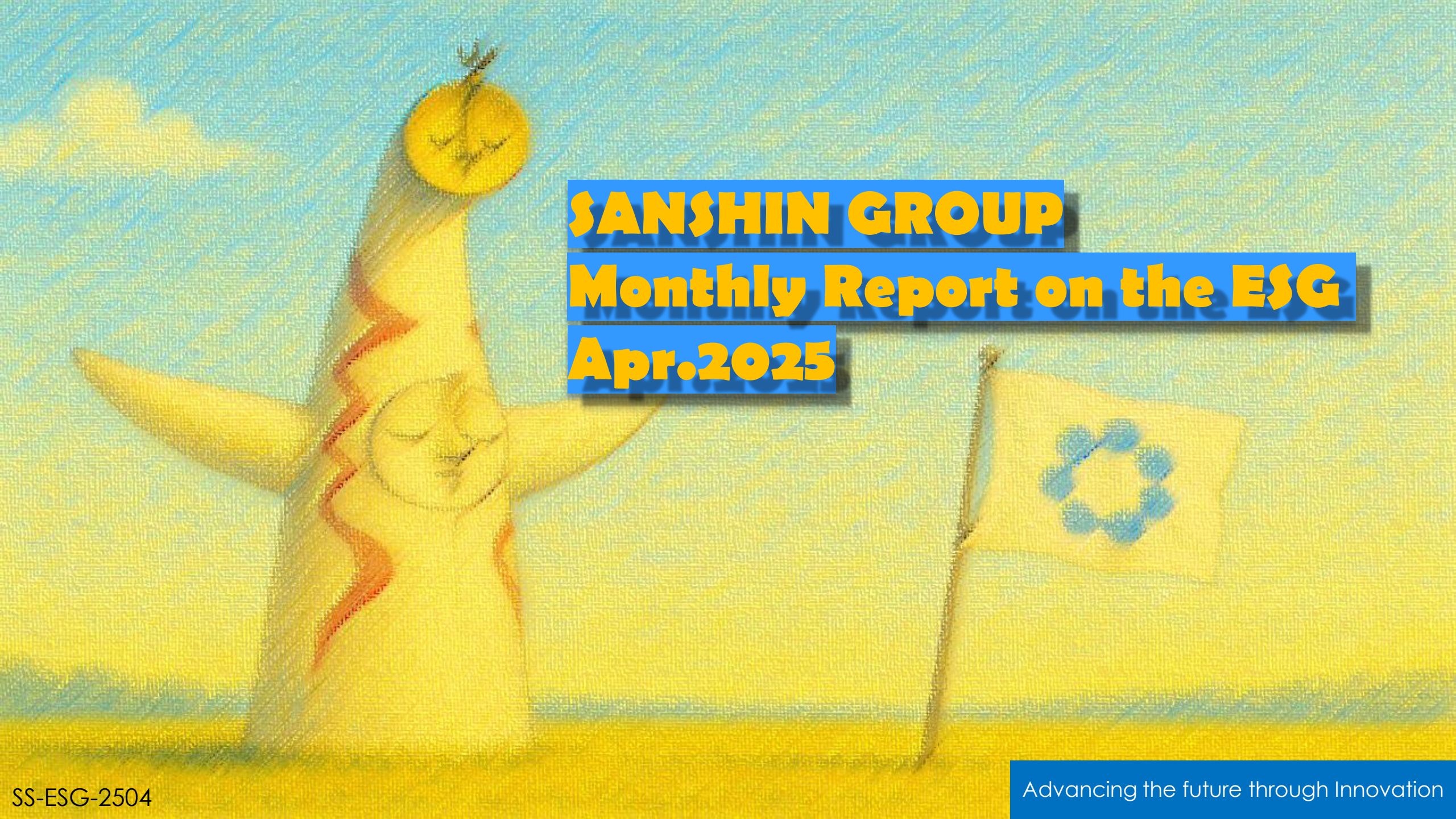


A pastel painting of a smiling figure with a sun on its head and a flag in the background. The figure is yellow with a red zigzag pattern on its chest. The background is a light blue sky with a yellow sun and a yellow flag with a blue flower design.

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Apr.2025

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

庶民の味が高嶺の花になる日

今春、私たちの食卓に変化が起きている。コメやサバといった身近な食材が、例年にない価格高騰に見舞われている。

背景には、気候変動による影響がある。猛暑や降水量の偏りがコメの生育を阻み、流通量の減少と価格上昇を招いている。

一方、水産資源も例外ではない。農林水産省によれば、令和5年のさば類の漁獲量は前年から15.7%減（＊農林水産省 令和5年漁業・養殖業生産統計より引用）。海水温の上昇による回遊ルートの変化に加え、燃料費や人手不足も影響している。

これらの現象は一時的な高値ではなく、気候変動が私たちの生活に及ぼす“日常的な影響”の一例である。今後ますますこうした変化が顕在化する可能性は高い。

だからこそ、私たち一人ひとりの選択が問われている。地産地消や旬の食材を意識した買い物、食品ロスの削減といった行動は、持続可能な社会への第一歩となる。

4月は環境月間。日々の食卓を通じて、環境とのつながりを今一度見つめ直す機会としたい。

サンシン電気株式会社
執行役員 清原 幸雄

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

2025年4月現在、環境に関する注目の話題として、気象庁と文部科学省が公表した『日本の気候変動2025』があります。この報告書は、日本の気候変動に関する最新の観測結果や科学的知見を取り入れたもので、気候変動対策の根拠となることを目的としています。国内における極端気象の増加傾向が明示されており、サステナビリティ戦略の再考にも有用な資料です。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

The government / Non-governmental organizations/ people, let's low carbon living for all.
• Water conservation e.g. Circulating water
• Energy saving e.g. Use green energy and reduce the use of petroleum products
• Green transport e.g. Use public transport as much as possible to reduce carbon emissions
• Waste Reduction e.g. A technology company is researching the use of recycled plastics to produce noise-absorbing meta-materials.
Achieve the goal of carbon neutral as soon as possible. (M.L.)

CSI

孵化直前のアヒルのゆで卵「バロット」は栄養満点のスタミナ食材としてセブではよく知られています。カラを半分むき、鷹の爪で辛みを利かしたお酢をかけて食べます。現地の人でも食べる人と食べない人とにわかれます。(K.S.)

SANSHINWest

スギ・ヒノキなどの春の花粉の飛散がようやく落ち着きそうです。ある調査によると、重度の花粉症を発症する平均年齢の22歳～症状軽減が見られる60歳まで継続して花粉症対策を行うと仮定すると、約32万円の支出になるそうです(マスクや市販薬など月額平均2,758円×花粉症ピークの3ヶ月×38年)。費用がかさんでしまいますが、軽症の内の対策が重要ですので我慢せずに対策を取りましょう。(Y.S.)

SHINKOWA

4月になり春の気候になってきました、ただ、晴れの暖かい日や雨の寒い日が交互に来るので、まだ冬物の洋服と夏物の洋服の衣替えができませんね、早く暖かい日が続きますよに思います。さすがに真夏のような暑さになってしまうのが近年です。天候不順が無いように食物が通常に収穫されますように願います。(M.N.)

SC2

【炎上注意】梅雨時に活躍する浴室乾燥機ですが、故障からの火災リスクもあります。その際、機械内部に石油由来の合成洗剤や柔軟剤が付着していたら…。何を選ぶか、何を使うかが、あなたの運命を分かつかもしれません。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>

Material（材料）、Machine（製造機械）、Method（製造方法）、
Man（担当者）、Measurement（計測）

段取り

<仕事の段取り5W3H>

5W：When（いつ）、Where（どこで）、Who（だれが）、What（なにを）、Why（なぜ）
3H：How（どのように）、How much（いくら）、How many（どのくらい）

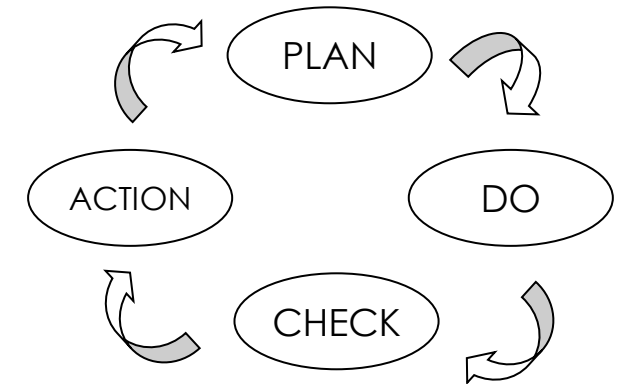
行動

<製造の基本である3現主義>

現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- ・EMS先との継続的な品質会議の実施。（1回／隔月）
- ・定期監査の実施。（1回／1年程度）

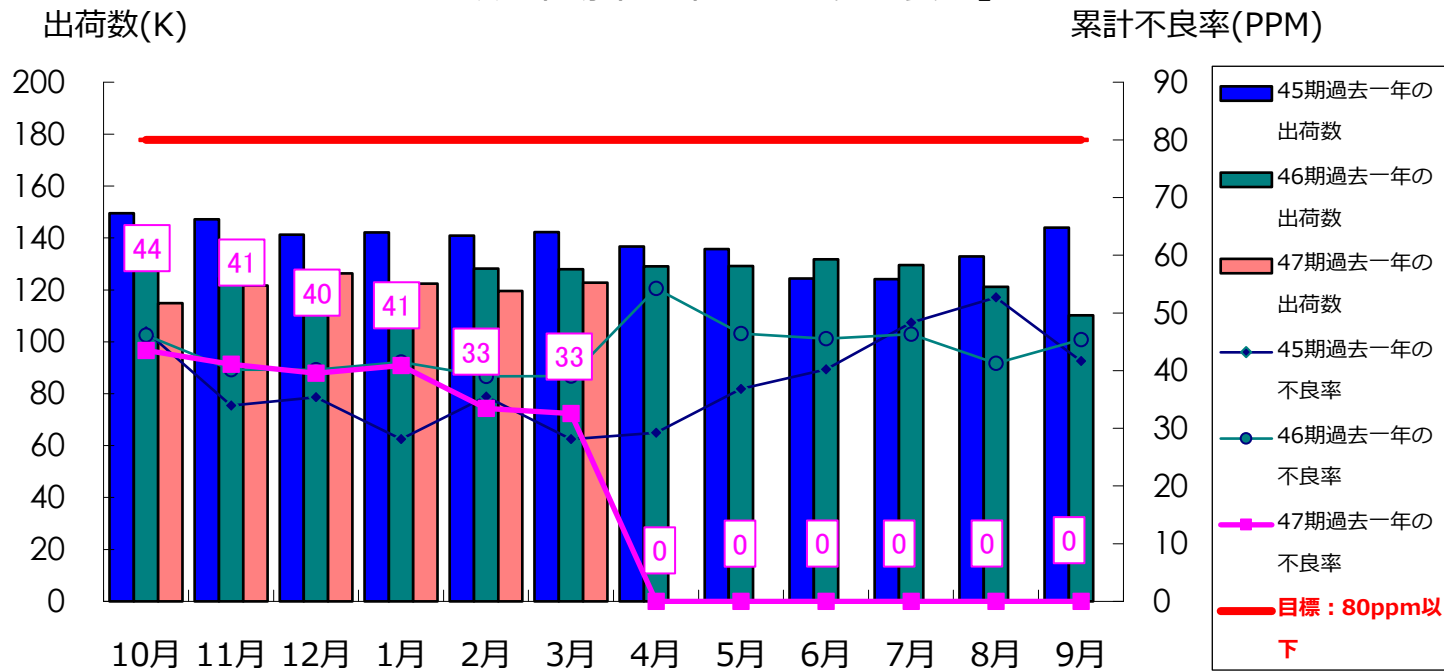
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

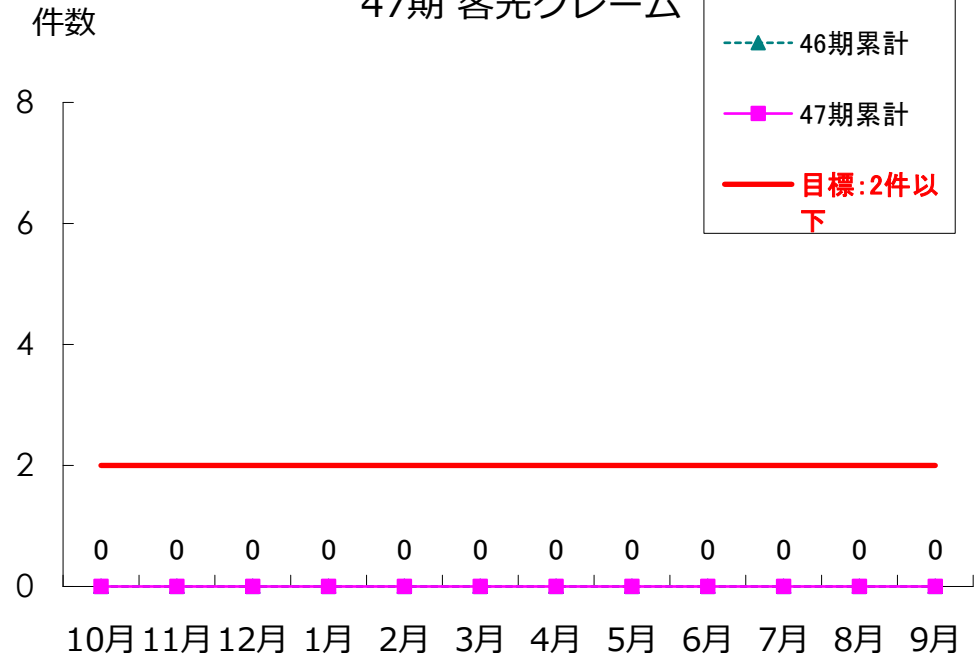
納入品不良率（目標：80ppm）
47期の累計不良率(解析依頼含む)：33ppm

客先クレーム（目標：2件以下）：0件

47期 市場不良率「ユニット製品」



47期 客先クレーム



ESG Report (環境)

TOPICS

□ 大阪・関西万博は“環境万博”になれるか？

ー 開幕後の現地から見える、サステナブル社会の実験場としてのリアルー

2025年4月13日、大阪湾の人工島・夢洲（ゆめしま）にて、大阪・関西万博がついに開幕しました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、最新技術と文化が交錯する世界規模のイベントですが、その裏側で今、改めて注目されているのが「環境問題」への取り組みです。

世界が脱炭素と気候変動対策を急ぐ中、大規模イベントがどのようにサステナブルなモデルとなりうるのでしょうか。現地の様子とともに、「環境万博」としての実態を読み解いていきます。

☑ 再エネ100%の会場、カーボンニュートラルへの挑戦

万博運営側は「史上初のカーボンニュートラル万博」を掲げて準備を進めてきました。実際に会場で使用される電力はすべて再生可能エネルギー由来です。太陽光、風力、バイオマスといった電源を組み合わせ、CO₂排出ゼロの運営を実現しています。

また、建築物はすべて仮設型とし、解体後の再利用性を重視。木材や軽量鋼材といったエコ素材の活用により、リユースとリサイクルを前提とした「使い捨てにしない万博」を形にしています。廃棄物のリサイクル率は90%以上を目標としており、来場者にも分別の協力が求められています。

TOPICS

☑ AIとIoTで“見えないエコ”を実現

現地を訪れても一見わかりにくいですが、会場全体に張り巡らされているのがAIやIoTによる省エネルギー技術です。例えば、来場者の動線や気象データをリアルタイムで分析し、空調や照明を自動で制御しています。これにより、過剰なエネルギー使用を防ぎ、快適性と環境負荷の低減を両立しています。また、AIは廃棄物の排出予測や回収ルート最適化にも活用され、裏方の効率化にも貢献しています。このような“見えない工夫”が、持続可能なイベントの新しい形を提示しているのです。

☑ 環境を体験するパビリオンたち

大阪万博には、サステナビリティを体験できるパビリオンが数多く出展されています。

- パナソニックグループ：再生可能エネルギーの地産地消モデル、循環型社会のシミュレーションを展示
- トヨタ：水素を活用した次世代モビリティ（MaaS）と、環境配慮型スマートシティを体感できるブースを展開
- 海洋プラスチック再生パビリオン：廃プラスチックで作られた建材やアート展示により、リサイクルの可能性を体感

これらの展示は、単なる製品や技術の紹介にとどまらず、来場者に「自分ごと」として環境問題を捉えてもらうための仕掛けとして機能しています。

TOPICS

☑ 会場の裏側にある課題も

もちろん、課題もあります。開催前から懸念されていたのが、夢洲という土地の地盤問題や、生態系への影響です。もともと産業廃棄物の最終処分場だった経緯もあり、「本当に環境配慮型なのか？」という疑問を持つ市民の声も少なくありません。加えて、建設資材の調達や物流面でのCO₂排出も避けられず、カーボンニュートラルという目標との乖離を指摘する専門家もいます。それでも、こうした問題を可視化し、改善しながら次世代型の都市づくりにフィードバックしていく仕組みが重要であり、万博はその「実験場」として価値を発揮しているのです。

☑ 体験から始まる“行動”への一歩

万博は始まったばかりです。来場者にとってこの体験が、環境に優しい選択の第一歩になる可能性を秘めています。環境万博としての真価は、開催期間中だけでなく、その後のレガシーとして何を残せるかにかかっています。夢洲から始まったこの挑戦が、私たちの暮らしや意識にどう作用していくのか——いま、まさにその過程が進行中であるのです。

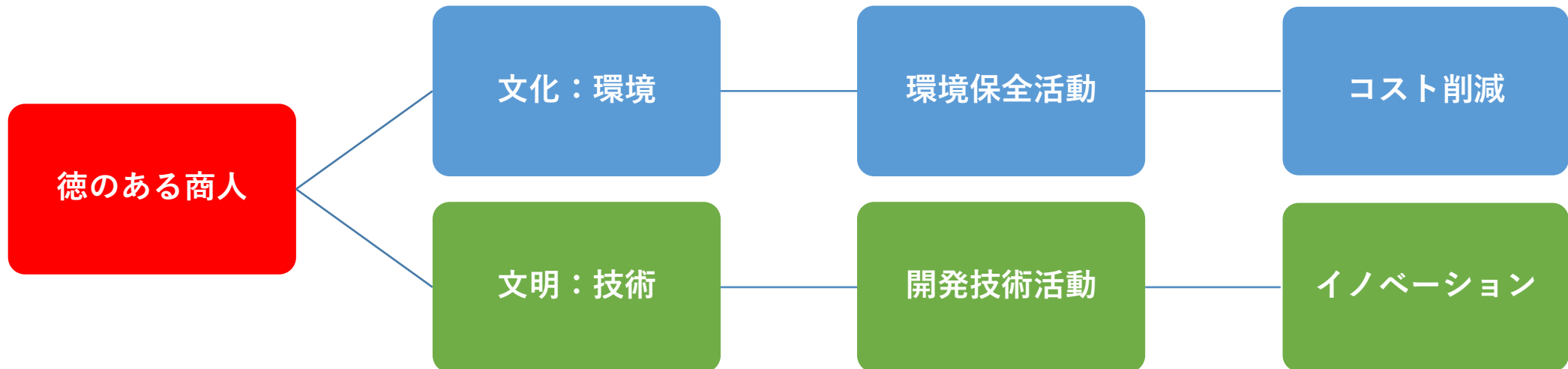
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

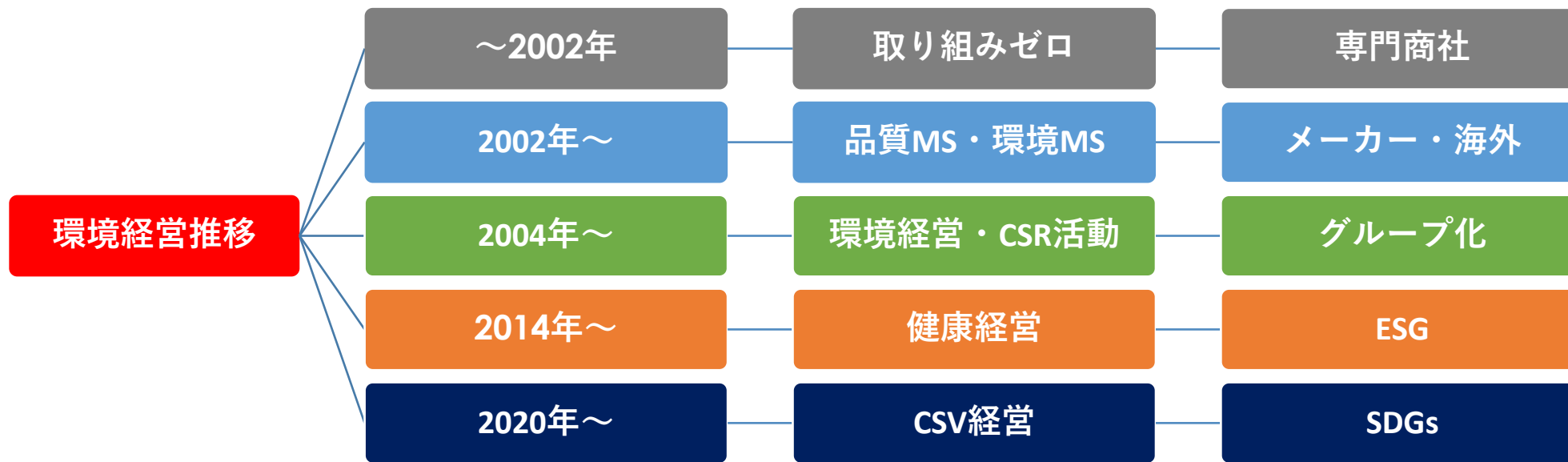
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

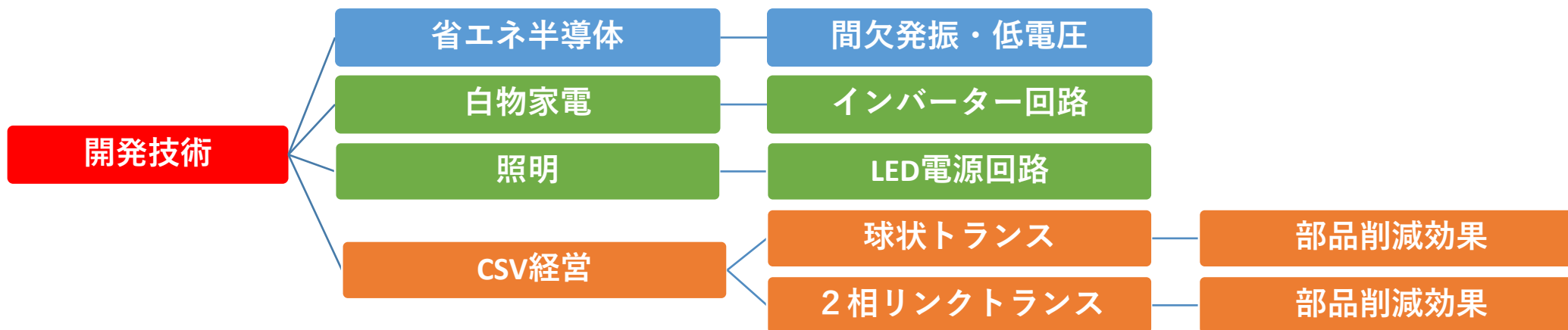
- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
- **テレワーク**による電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**
環境とイノベーションを結び付けた技術開発
CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！



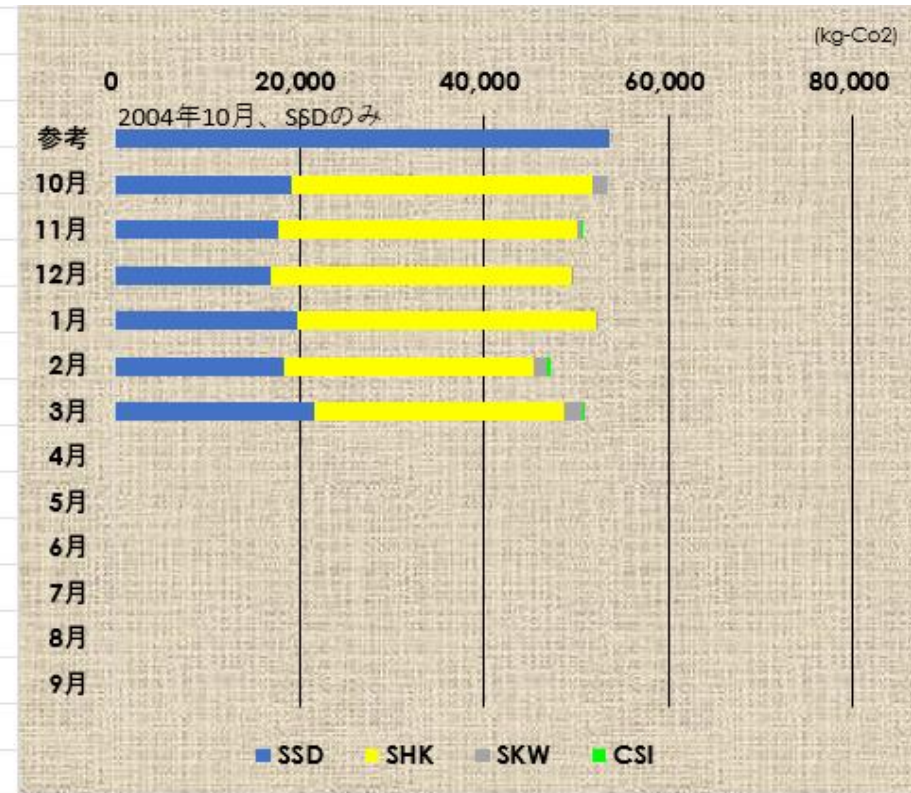
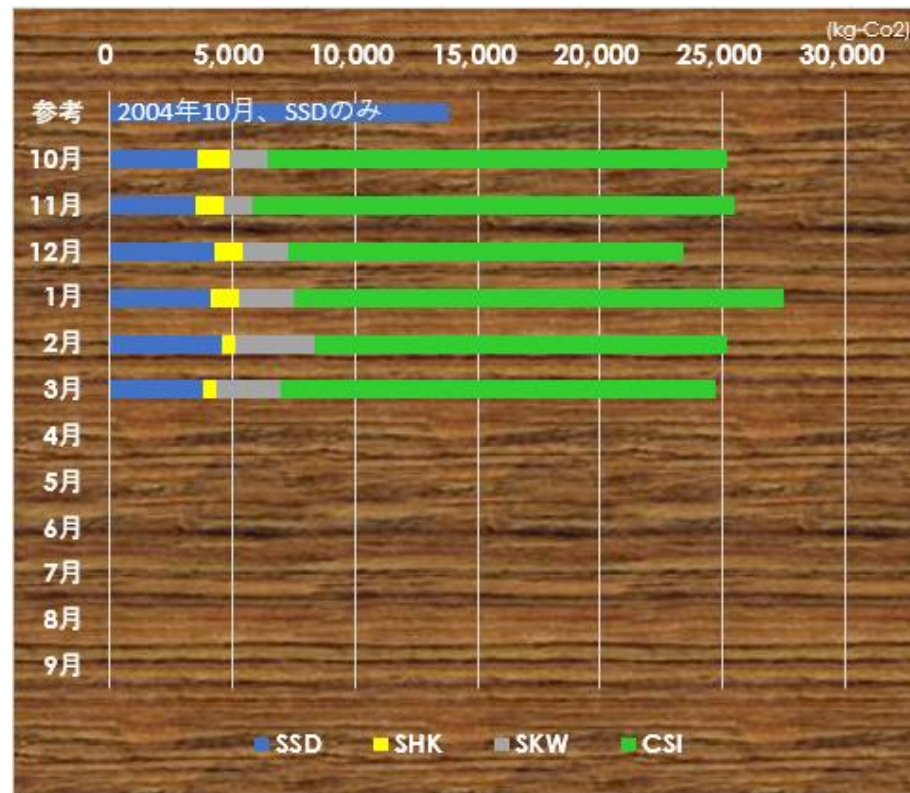
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

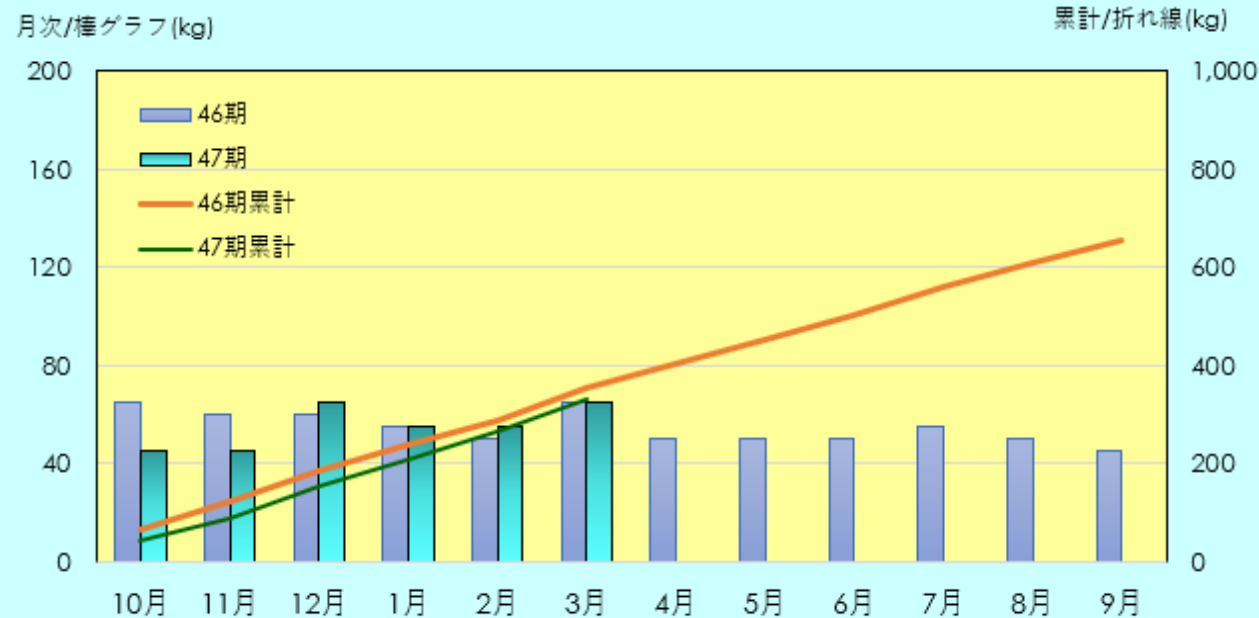
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

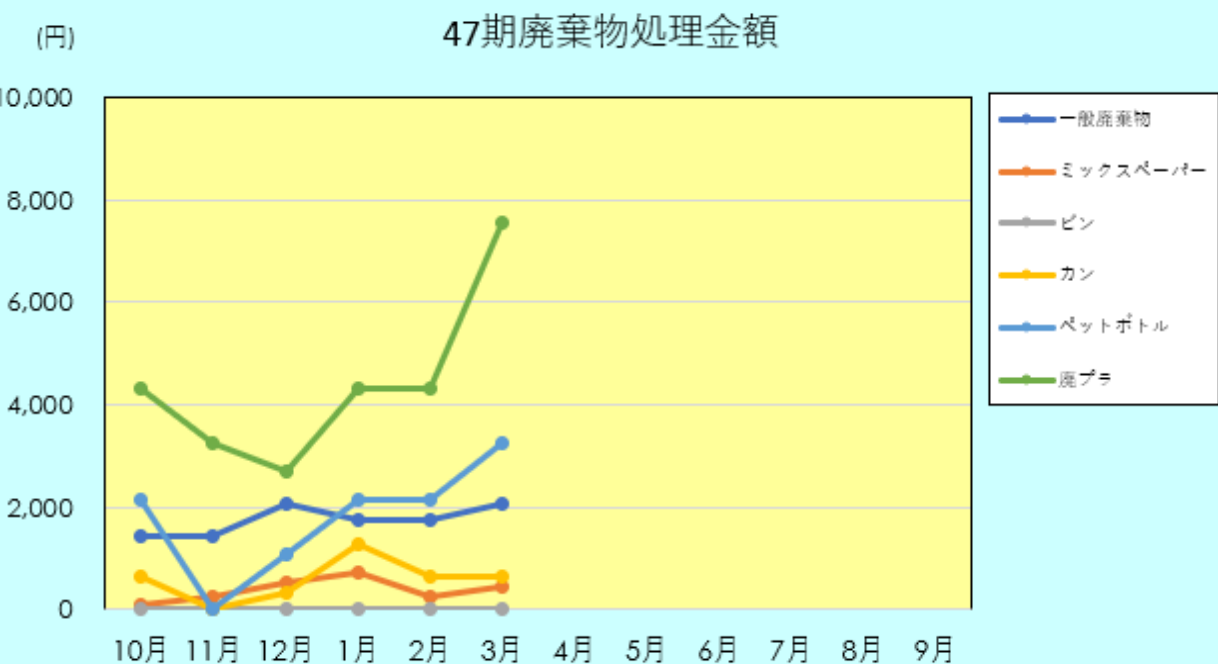
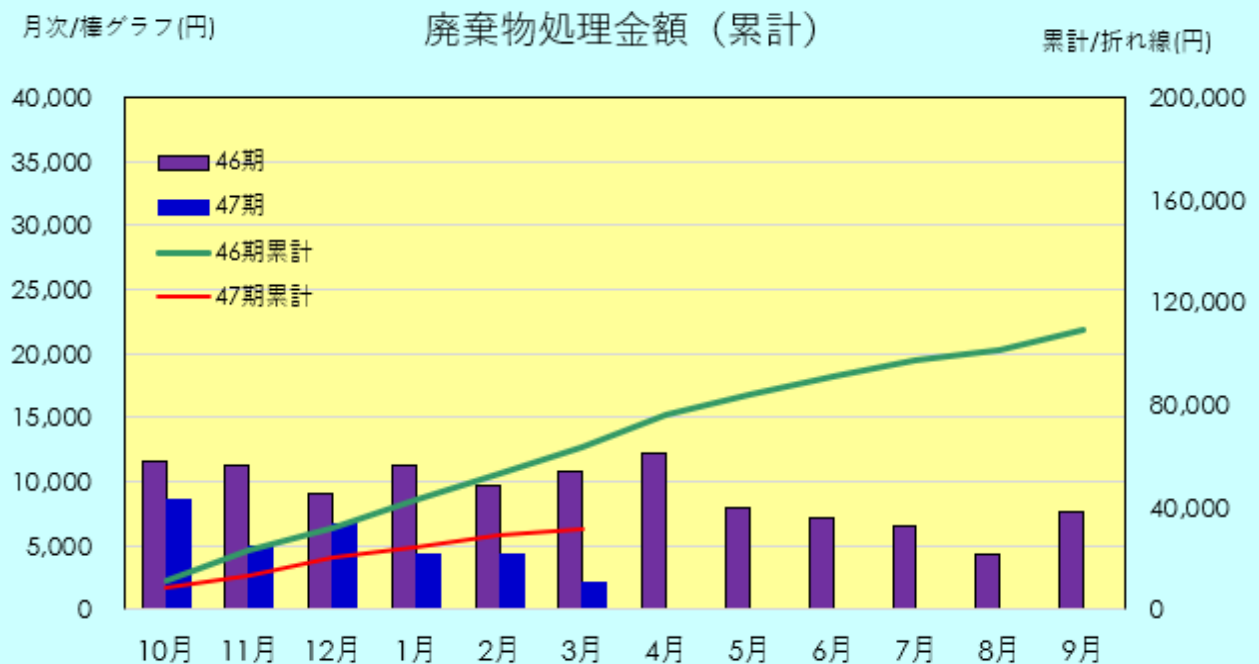
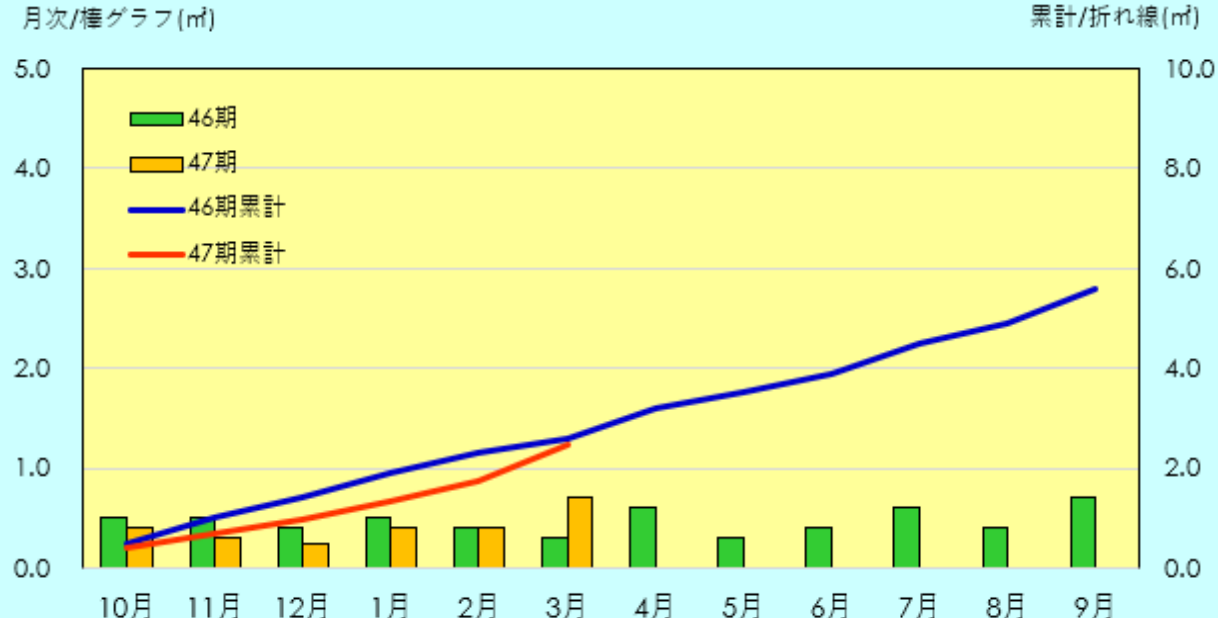
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



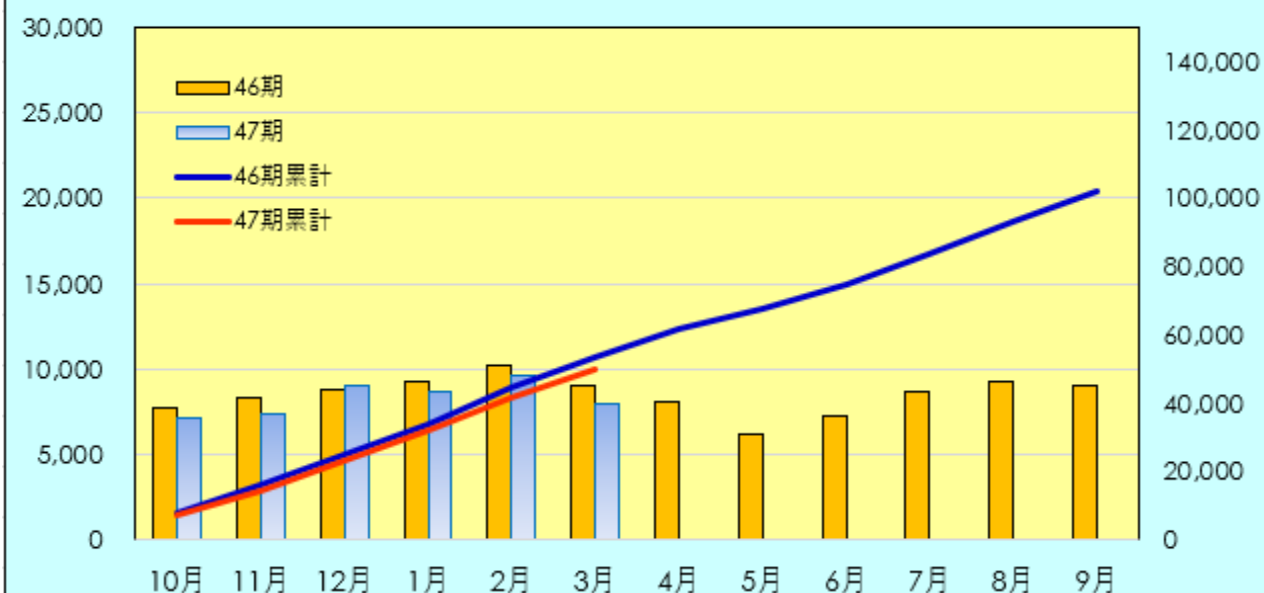
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

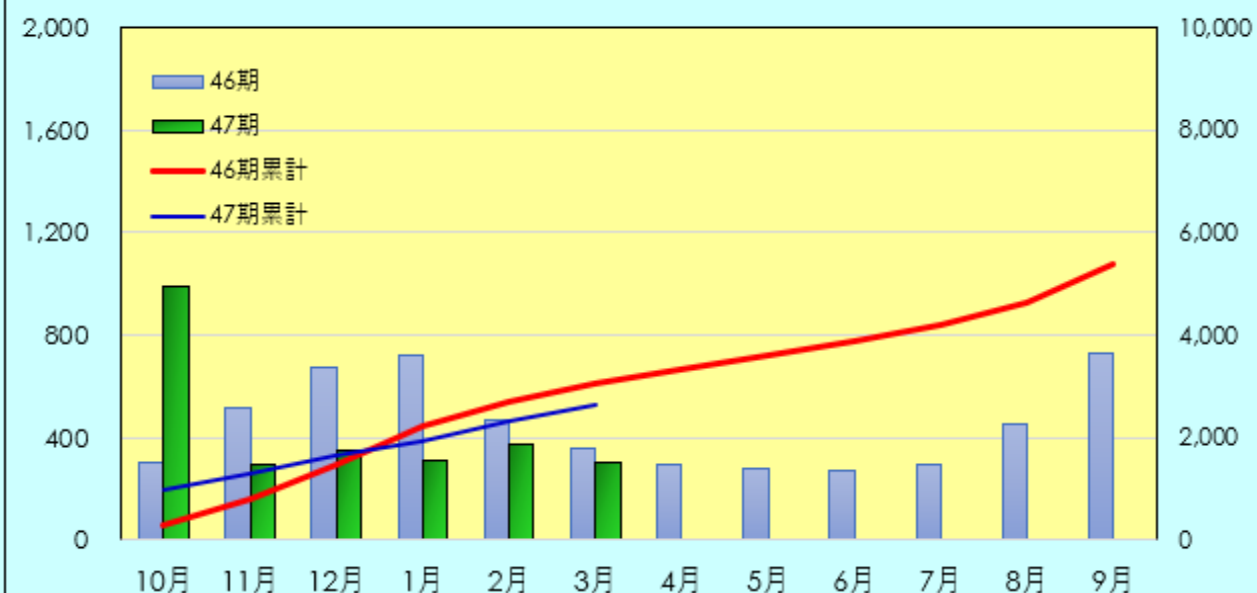
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

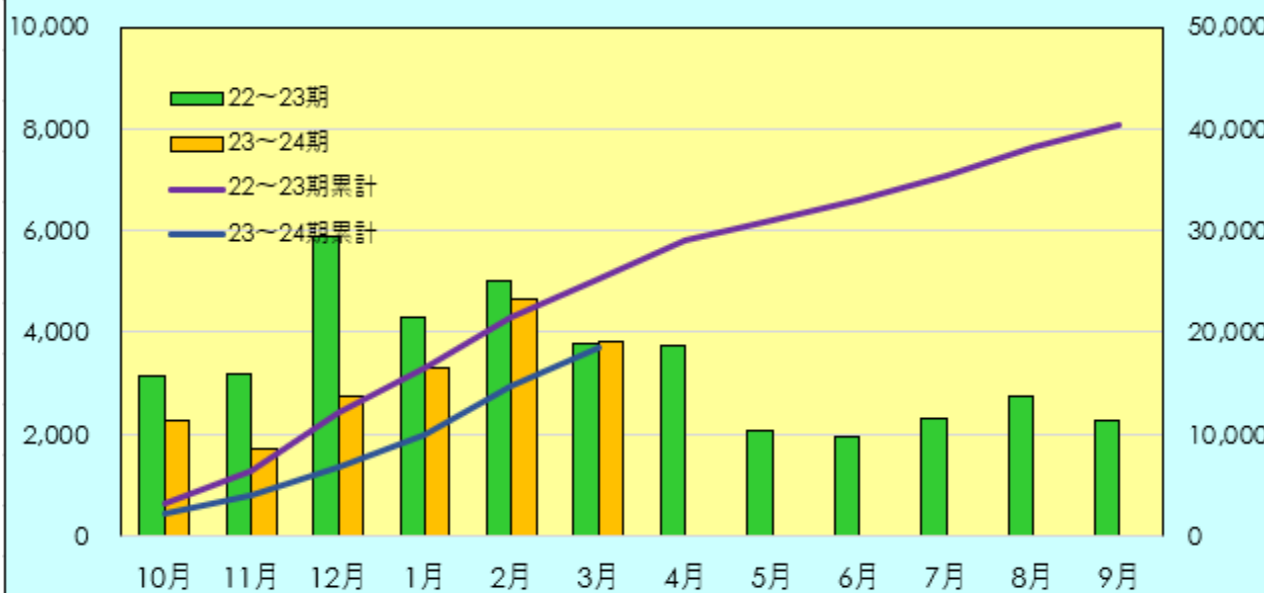
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

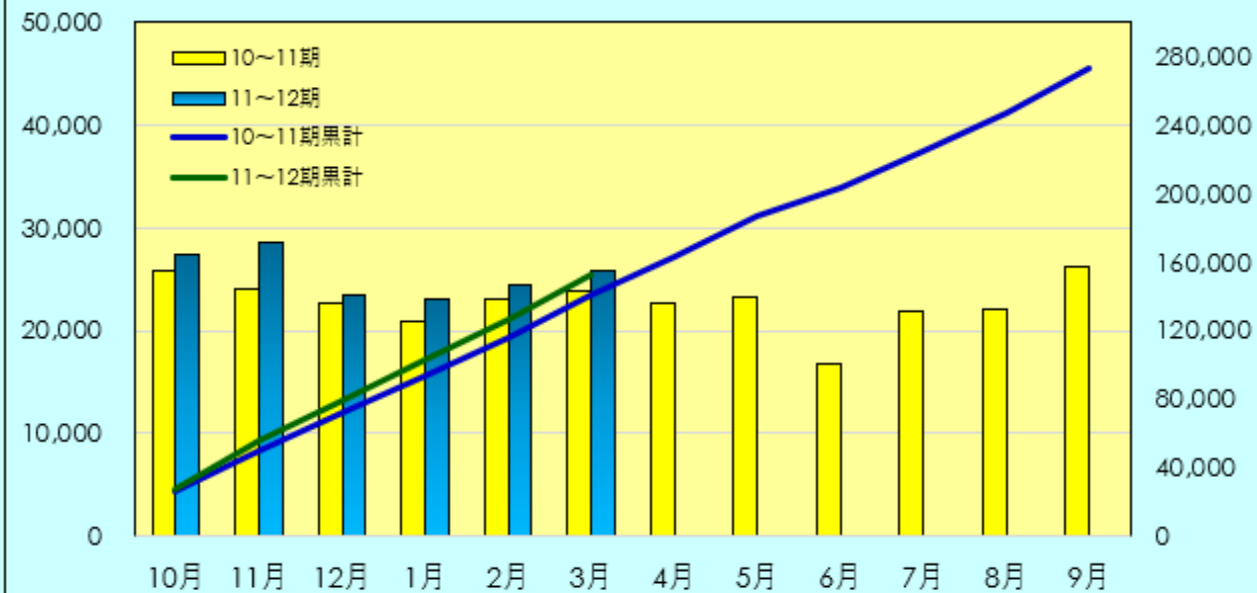
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●花壇をリニューアルしました！

サンシン電気 本社ではオフィス脇の花壇をリニューアルいたしました。

様々な植物をバランスよく取り入れて、訪れる方々や社員にとって、より心地よく、癒やしの空間となることを目指しました。早速、社員やお客様からご好評頂いております。

サンシン電気では、「とにかく明るい職場プロジェクト」と題してオフィスのリニューアルを進めております。今後も、働く環境の整備と地域との調和を大切にしていまいります。

お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください！



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（3月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

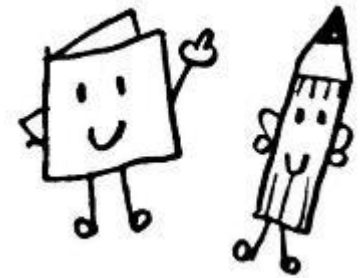


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ EIGYOプログラムによる育成制度を整備しスキルアップを支援
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、QC検定等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCA'を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

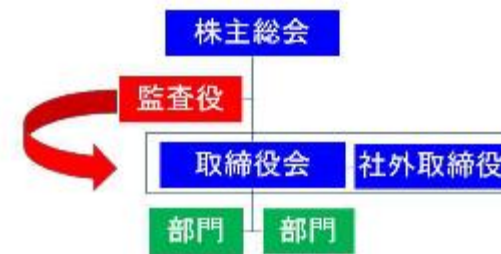
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウンティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

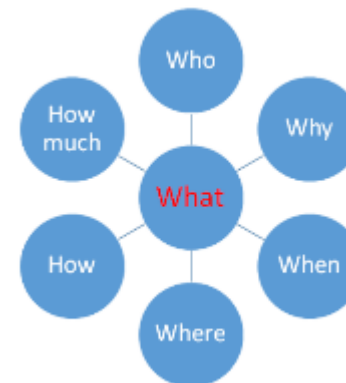


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



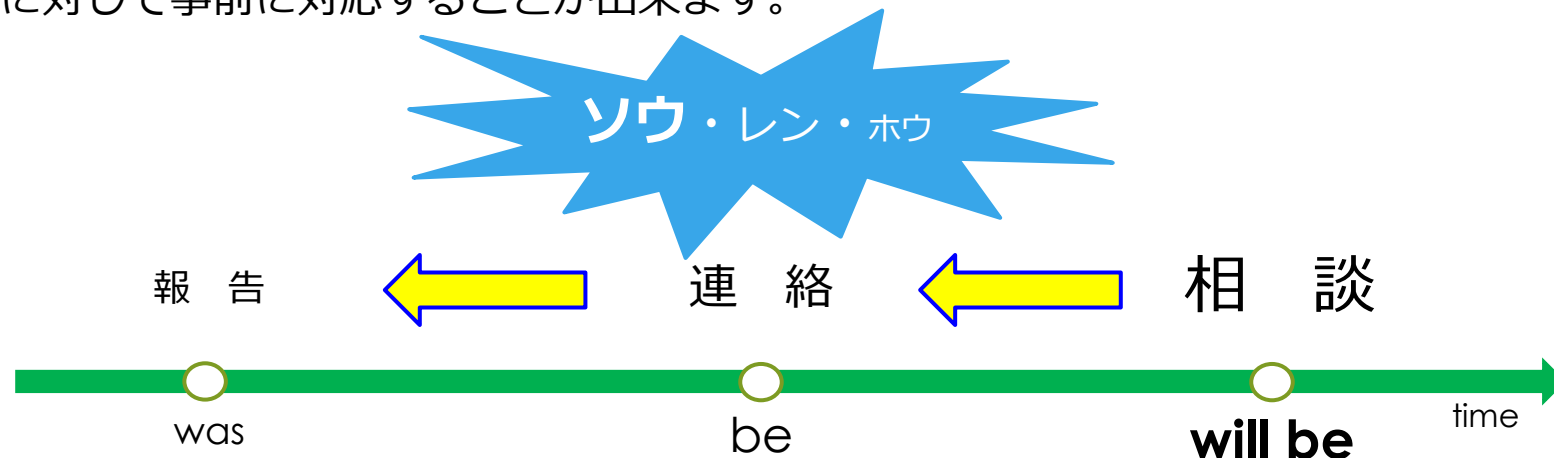
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



SSD, 営業管理課 Y.Y.

朝晩の寒暖差に体がついていかず…。季節の変化も、地球の変化も、ちゃんと感じています。そんな時こそ、自分にも地球にも優しい過ごし方を心がけたいですね。